

平成31年度 学校経営方針

1 学校の教育目標

- 自ら考え行動する生徒
- 思いやりのある心豊かな生徒
- 心身ともにたくましい生徒

2 目指す学校像（スローガン）

「生徒一人一人が輝き、爽やかで気持ちのいい学校」

3 目指す生徒像

- 「自律的活動能力」の育成・・・自ら考え行動できる生徒（知）
- 「道徳性、人間関係形成能力」の育成・・・思いやりのある心豊かな生徒（徳）
- 「創造的思考力」の育成・・・心身ともにたくましい生徒（体）

4 目標を達成するための基本方針

（1）自ら考え行動する生徒“自律的活動能力”を育成するために

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、適切な指導計画・評価計画のもとで、少人数・習熟度別指導を効果的に実施し、教材・教具などユニバーサルデザインの視点に立った授業を充実させる。
- ②社会に開かれた教育課程の実現を目指し、カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた系統性・発展性のある教育活動を工夫する。
- ③学校図書館全体計画及び年間指導計画に基づき、学校図書館の活用を図り、自ら課題を見付け、問題解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育てる。

（2）思いやりのある心豊かな生徒“道徳性、人間関係形成能力”を育成するために

- ①人権尊重の精神、自他の生命尊重や思いやりの心を醸成するために、人権教育及び道徳教育を重視し、あらゆる教育活動を通して豊かな心を育成する。
- ②生徒理解の深化を図るとともに、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を形成し、学習規律や生活規律などの自己指導力を身に付けられるよう、生徒指導を充実させる。
- ③いじめは絶対に許されない行為であるという共通認識のもとで、「学校いじめ防止対策基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に努め、指導の徹底を図る。
- ④不登校や特別な支援を要する生徒へのきめ細かな支援に当たり、特別支援教育を推進する。また、特別支援教室拠点校として、通級による指導を充実させる。

（3）心身ともにたくましい生徒“創造的思考力”を育成するために

- ①安全で安心な学校環境を保持するとともに、望ましい食習慣や体力向上を図るために、地域や家庭と連携し、組織的・計画的な健康・安全教育を充実させる。
- ②望ましい勤労観・職業観を育成するために、職場体験活動等を実施するとともに、主体的な進路選択に向けて、キャリア教育の視点に立った進路指導を充実させる。

5 目標を達成するための具体的な方策

(1) 「自律的活動能力」を育成するための方策

- ①国、都、市の学力調査の結果や生徒による授業評価の結果を参考に、学力に関する課題を把握し、「授業改善推進プラン」、「調布ベーシック・プラン」の作成・実施・評価・改善を通して、確かな学力の向上を図る。
- ②数学・英語の少人数・習熟度別指導では、生徒一人一人の能力伸長を図るとともに、定期考査前自習教室では、学習ボランティア等を活用し、基礎的・基本的な内容を定着させる。
- ③地域学校協働本部事業を活用し、大学生やシニアのボランティアを活用した学習支援、英語検定や漢字検定、定期考査前自習教室、土曜学習部の活動などを実施し、基礎学力を定着させ、学力の向上を図る。
- ④学校図書館や近隣の教育機関、ICT機器、地域の人材活用、体験的な学習を取り入れるなど、多様な学習形態を用いる。

(2) 「道徳性、人間関係形成能力」を育成するための方策

- ①道徳授業地区公開講座を活用し、保護者や地域の人々の参加や協力を通して、道徳性の育成や直面する課題について共に考え、道徳指導の効果を高める。
- ②不登校生徒や生活指導上配慮が必要な生徒に対して、ガイダンス機能の充実を図り、スクールカウンセラーや関係諸機関と連携し、きめ細やかな教育相談活動を実施する。
- ③特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会で支援の必要な生徒の支援方法を検討するとともに、特別支援教室専門員等を活用して巡回相談や関係諸機関と連携を図り、個別の教育支援計画や個別指導計画を活用し、指導・支援を行う。
- ④学校行事においては、体育祭、学習発表会、合唱コンクールなどで個人または集団の目標を設定し、目標達成までのプロセスを重視するとともに、集団への所属感を深め、学校生活を充実・発展させようとする自主的・実践的な態度を育成する。

(3) 「創造的思考力」を育成するための方策

- ①全国体力テスト及び東京都統一体力テストの実施・評価やオリンピック・パラリンピック教育推進校の取組を通して、一校一取組運動として始業前20分間の持久走を取り入れた体力向上週間を設定し、生徒の健康づくりや体力向上を図る。
- ②望ましい食習慣を身に付けた健康な生活のために、食に関する指導の全体計画に基づいた食育を推進するとともに、食物アレルギーへの配慮を徹底し、誤食事故防止に努める。
- ③安全で安心な学校環境を保持するために、学校安全計画に基づいた毎月の安全指導や避難訓練をはじめ、調布市防災教育の日、セーフティ教室、普通救命講習、薬物乱用防止・喫煙防止教室等を通して、危険回避や安全確保について計画的・継続的に指導するとともに、情報モラル教育を推進する。
- ④地域の理解や協力のもとで職場体験活動を実施し、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、人間関係形成能力・情報収集能力・将来設計能力・意思決定能力を身に付けさせる。